

〔I〕 次の文の（ 1 ）～（ 10 ）に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

8世紀後半、唐の宰相楊炎の献策によって新しい税制として（ 1 ）が施行され、納税には銅銭を用いることが原則とされた。すでに春秋時代には青銅の貨幣が使用されるなど、中国では古くから貨幣が鑄造されていたが、（ 1 ）の導入によって、地方にまで貨幣経済が浸透していくことになった。宋代に入ると、（ 2 ）と呼ばれる同業の商人組合が成立するなど、都市を中心に商業が発達し、それにともなって銅銭の鑄造と流通が増加していった。しかし、宋は12世紀に金の攻撃によって滅亡し、現在の（ 3 ）を都として江南に再興された南宋は金に臣下の礼をとって（ 4 ）を国境とした。

モンゴル時代においては、（ 5 ）の時代に金が、フビライ＝ハンの時代に南宋が滅ぼされた。モンゴル帝国では銀が貨幣の基本となったが、元代にはフビライ＝ハン時代以降、紙幣の（ 6 ）も広く流通し、銅銭は日本など周辺地域に流出していった。

明代における倭寇の活動の背景には、日本銀の生産増と明における銀需要の高まり、そして両者の間に立ちはだかる海禁政策の壁があったと考えることもできる。16世紀後半、明は海禁政策を緩め、同じ頃（ 7 ）がマカオへの居住許可を得て中国沿岸に拠点を確保、長崎との間を往復して日本銀と中国の生糸とを運び、巨利をあげた。また、16世紀前半には現在の（ 8 ）でポトシ銀山が開発され、その銀の一部はメキシコの港市から（ 9 ）のアジア貿易の拠点マニラに運ばれ、そこから中国に輸入された。明代の後半、（ 1 ）に替わって、土地税と人頭税を一括して銀納することとした（ 10 ）が施行されたのも、こうした貨幣経済の進展や銀の流通がその背景にあった。

〔語 群〕

- | | | | |
|---------------|-----------|----------|--------------|
| (ア) ブラジル | (イ) 交子 | (ウ) 両税法 | (エ) 一条鞭法 |
| (オ) グユク = ハン | (カ) 交鈔 | (キ) 紅河 | (ク) 上海 |
| (ケ) 杭州 | (コ) フランス | (カ) 地丁銀制 | (シ) 飛錢 |
| (ス) 作 | (セ) ポルトガル | (ソ) 公行 | (タ) スペイン |
| (チ) オゴタイ = ハン | (ツ) 均輸法 | (テ) オランダ | (ト) 黒竜江 |
| (ナ) 淮河 | (ニ) チリ | (ヌ) 租調庸制 | (ネ) イギリス |
| (ノ) ポリビア | (ハ) 南京 | (ヘ) 行 | (フ) モンケ = ハン |